

令和 2 年度

事 業 報 告



日本赤十字社の使命

わたしたちは、
苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、
いかなる状況下でも、
人間のいのちと健康、尊厳を守ります。

わたしたちの基本原則

わたしたちは、世界中の赤十字が共有する7つの基本原則にしたがって行動します。

- 人道：人間のいのちと健康、尊厳を守るために、苦痛の予防と軽減に努めます。
- 公平：いかなる差別もせず、最も助けが必要な人を優先します。
- 中立：すべての人の信頼を得て活動するため、いっさいの争いに加わりません。
- 独立：国や他の援助機関の人道活動に協力しますが、赤十字としての自主性を保ちます。
- 奉仕：利益を求めず、人を救うため、自発的に行動します。
- 單一：国内で唯一の赤十字社として、すべての人に開かれた活動を進めます。
- 世界性：世界に広がる赤十字のネットワークを生かし、互いの力を合わせて行動します。

わたしたちの決意

わたしたちは、赤十字運動の担い手として、
人道の実現のために、
利己心と闘い、無関心に陥ることなく、
人の痛みや苦しみに目を向け、
常に想像力をもって行動します。

はじめに

平素から県民の皆様には赤十字事業の推進につきまして、温かいご支援、ご協力をいただき、心から御礼申し上げます。

令和2年度におきましては、昨年からの新型コロナウイルス感染症のまん延が続き、感染拡大防止のため、支部事業の実施に大きな影響を与える状況となりました。

そうした中、広島県支部は、「苦しんでいる人を救いたい」という思いを結集し、いかなる状況下でも、人間のいのちと健康、尊厳を守る」という赤十字の使命達成のため、感染防止対策を講じた上で災害救護活動や県民の安全と健康を守る救急法等の講習普及事業、青少年赤十字事業等、幅広い事業を継続して行ってまいりました。

まず、災害救護活動では、熊本地方を中心に発生した令和2年7月豪雨において救護班1班を派遣したほか、大規模・広域災害に備え災害救援車両やテント・炊出し釜を整備する等、災害救護体制の充実・強化を行いました。

講習普及事業では、実施方法の見直しや感染防止対策を徹底し、救命・応急手当を学ぶ救急法、水の事故防止や溺れた人の救助を学ぶ水上安全法等を実施しました。

赤十字ボランティア事業では、感染拡大防止のための布マスクを製作し、地域の福祉施設等に寄贈したほか、赤十字ボランティア養成研修の質的向上を目的とした企画・運営会議等に出席しました。

青少年赤十字事業では、新型コロナウイルス感染症がもたらす不安・偏見・差別を解消するための啓発活動を行ったほか、WEBで開催された国際交流集会、研修会・講習会等に参加しました。

医療事業では、感染防止対策を徹底し、新型コロナウイルスの専用病床を確保するなど、公的医療機関として地域医療体制を守るため、その使命と役割を果たしてまいりました。

血液事業では、コロナ禍で献血への協力が得にくい状況の中、SNSを活用したタイムリーな広報の強化や献血WEB会員の増強を行うことで献血会場における献血者の密集や密接を回避するための献血予約の推進強化を図り、安定的に輸血用血液製剤の確保・供給を行いました。

これらの事業が実施できましたのは、県民並びに赤十字有功会等の赤十字会員、県内に組織された36の赤十字奉仕団をはじめとする多くのボランティア、地区・分区等における町内会・自治会等の皆様方による力強いご支援の賜物であると心から感謝申し上げます。

つきましては、引き続き皆様方の大きなお力添えを必要としておりますので、今後とも赤十字事業に対し、より一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

日本赤十字社広島県支部

支部長 湯崎英彦

もくじ

I 広島県支部の運営

1 組織図	1
2 役員	2
3 評議員会	3

II 事業の実施状況

1 災害救護活動	4
2 講習普及事業	13
3 赤十字ボランティア	22
4 青少年赤十字	26
5 国際活動	29
6 赤十字思想の普及	32
7 会員と活動資金	34
8 看護師等養成事業	37
9 血液事業	38
10 医療事業	39

III 決算状況

1 一般会計	41
2 医療施設特別会計	42

IV 参考資料

1 赤十字施設一覧	45
2 地区・分区一覧	46

I 広島県支部の運営

支部の運営は、各地区から選出された36名の評議員から構成される評議員会において、役員の選出、事業計画や予算、決算等の重要事項を審議・決定し、県内の各市区町に設置した地区本部・各地区・分区の協力を得ながら進めています。

また、平素の事業については、事務局において総務課・組織振興課・事業推進課の3課による調整、協力のもと各赤十字施設、地区・分区、赤十字奉仕団等と連携して実施しています。

1 組織図



2 役員 (令和3年3月31日現在)

- (1) 支部長 湯崎英彦 (広島県知事)
(2) 副支部長 田邊昌彦 (広島県副知事)
(3) 監査委員 山本一隆・井林孝二
(4) 参与 平川理恵・木下栄作・大幡誠
(5) 評議員

■評議員一覧

選出地区	氏名	選出地区	氏名
広島市	小池信之	府中市	村上明雄
	山本直樹	三次市	堂本昌二
	月村佳子	庄原市	大原直樹
	中区 行廣真明	大竹市	太田勲男
	東区 篠原富子	東広島市	多田稔
	南区 漆原正浩	廿日市市	堀野和則
	西区 福岡美鈴	安芸高田市	米村公男
	安佐南区 杉山明	江田島市	土手三生
	安佐北区 國重俊彦	安芸郡	吉田隆行
	安芸区 長光信治	山県郡	箕野博司
佐伯区	建部賢次	豊田郡	高田幸典
呉市	小松良三	世羅郡	奥田正和
	佐藤光子	神石郡	入江嘉則
竹原市	新谷昭夫	支部長選出	中本隆志
三原市	池本勝彦		松村誠
尾道市	澤田昌文		宗兼邦生
福山市	杉野昌平		本永史郎
	赤松治美		福本アヤ子

3 評議員会

(1) 第1回評議員会

次の議案を文書審議し承認されました。

議 案 令和元年度一般会計歳入歳出決算並びに特別会計歳入歳出決算について
報 告 令和元年度広島県赤十字血液センター事業報告について

(2) 第2回評議員会

次の議案を文書審議し承認されました。

第1号議案 令和3年度日本赤十字社広島県支部事業計画について
第2号議案 令和3年度歳入歳出予算概算書について
第3号議案 令和3年度広島県赤十字血液センター事業計画について
第4号議案 代議員及び監査委員の選出並びに理事候補者の推薦について

II 事業の実施状況

1 災害救護活動

日本赤十字社は、日本赤十字社法及び災害対策基本法や災害救助法に定める災害救護団体として災害救護活動を実施しています。

(1) 災害救護活動

令和2年7月、熊本県を中心に、九州・中部・東北地方など広範囲に豪雨による災害が発生し、当支部は熊本県葦北郡芦北町に医療救護班1班を派遣し、町内の避難所等へ巡回診療、アセスメント、D V T 対策の啓蒙等の救護活動を展開しました。

新型コロナウイルス感染症まん延状況下での活動であったため、派遣前のP C R 検査やマスクの常時着用、アルコールによる手指消毒など、感染防止対策を徹底し、現地での医療救護活動を行いました。

また、この豪雨により、広島県においても多くの避難所が開設されたため、日赤災害医療コーディネートチーム1チームを広島県保健医療調整本部へ派遣するとともに、同調整本部の方針により、日赤医療救護班・D M A T ・広島県保健師によるアセスメントチームを編成し、安芸郡坂町の避難所のアセスメントを行いました。



巡回診療の様子 (熊本県葦北郡芦北町)



熊本県支部でのブリーフィング



避難所にて自衛隊から被害状況を聴取 (熊本県葦北郡芦北町)



避難所アセスメントの様子 (安芸郡坂町)



活動を終え支部に帰着した救護班

(2) 災害救護活動にかかる協定締結

令和2年12月11日、当支部と鯉城タクシー株式会社において、「災害時における救護活動への協力に関する協定」を締結しました。

この協定により、今後発災が想定される南海トラフ地震等の広域にわたる甚大な被害が想定される災害において、救護班等を迅速・確実に被災地へ輸送できるよう鯉城タクシー株式会社から大型バス等の車両や運転操作員を提供いただき、現地での円滑な救護活動が行えることとなります。



災害時における救護活動への協力に関する協定調印式

(3) 救護訓練・研修会

ア 救護訓練

迅速・的確な災害救護活動を実施できるよう、広島県内で行われた総合防災訓練に参加し、大規模災害の発生に備え、関係機関との連携強化、対処能力の向上を図りました。

■救護訓練参加状況

名称	日程	場所	参加者（人）
令和2年度広島市総合防災訓練	9月4日	広島市	17
令和2年度国土交通省 太田川総合水防演習	—	—	新型コロナウイルス感染症 に係る影響を考慮し中止
令和2年度広島県総合防災訓練・ 石油コンビナート等総合防災訓練	—	—	新型コロナウイルス感染症に係る 影響を考慮し令和3年度に延期



救護所での応急手当



本部での消防署との情報共有

イ 救護研修会

救護員やボランティア等のスキルアップを図るために、各種研修会の実施や他団体主催の研修会に参加しました。

■救護研修会実施・参加状況

名称	日程	場所	参加者（人）
救護員基礎研修	6月13日 8月21日	広島県支部	22 12
救護員実践研修会	10月8日～9日		26
日本赤十字社第5ブロック合同災害 救護訓練（令和2年7月豪雨災害検証会）	11月15日	広島県支部 (W E B)	3
こころのケア指導者養成研修会	12月15日～18日		1
こころのケア指導者研修会	1月18日		16
第5ブロック災害対策本部要員研修会 (第5ブロック救護業務担当者合同勉強会)	2月16日		11
都道府県災害医療コーディネート研修	2月15日～3月15日	広島県支部 (動画配信)	1
全国赤十字救護班研修会	—	—	新型コロナウイルス感染症に係る影響を考慮し中止
日赤災害医療コーディネート研修会 (本社主催)	—	—	
日赤災害医療コーディネート研修会 (支部主催)	—	—	



救護員基礎研修



救護員実践研修会

（4）救護班等の編成

災害が発生し、医療救護の必要が生じた際に直ちに活動ができるよう、県内3カ所の赤十字病院に救護班10班を常備しています。救護班は、1班あたり医師（1人）・看護師長（1人）・看護師（2人）・薬剤師（1人）・主事（2人）を基準として編成し、災害の規模に応じて救護員を増減し被災地へ派遣しています。これに加え、災害対策本部要員（40人）、血液供給要員（3人）を登録し、非常時の様々な状況に対応できる体制としています。そのほか、日赤災害医療コーディネートチームを3チーム（20人）編成しています。

救護員に対しては、救護員研修会実施要綱に基づき、系統立てた研修会を開催しており、継続的に知識・技術の研鑽を図っています。

また、この救護班のほか、急性期の災害に即応すべく災害派遣医療チーム（D M A T）隊員が県内各赤十字病院に在籍しており、県内外で発生する災害派遣に備えています。

■救護班等編成状況

施設名	救護班数	医師(人)	看護師長(人)	看護師(人)	薬剤師(人)	主事(人)	合計(人)
広島赤十字・原爆病院	6班	6	6	12	6	12	42
庄原赤十字病院	2班	2	2	4	2	4	14
三原赤十字病院	2班	2	2	4	2	4	14
合 計	10班	10	10	20	10	20	70

■災害対策本部要員、血液供給要員登録状況

施設名	災害対策本部要員(人)	血液供給要員(人)	合計(人)
広島県支部	18	—	18
広島赤十字・原爆病院	11	—	11
庄原赤十字病院	3	—	3
三原赤十字病院	4	—	4
広島県赤十字血液センター	4	3	7
合計	40	3	43

■日赤災害医療コーディネートチーム編成状況

施設名	医師(人)	看護師(人)	薬剤師(人)	事務職員(人)	合計(人)
広島赤十字・原爆病院	4	2	1	2	9
庄原赤十字病院	1	1	0	1	3
三原赤十字病院	1	1	0	2	4
広島県赤十字血液センター	0	0	0	1	1
広島県支部	0	0	0	3	3
合 計	6	4	1	9	20

■災害派遣医療チーム（DMAT）隊員登録状況

施設名	チーム数	医師(人)	看護師(人)	業務調整員(人)	合計(人)
広島赤十字・原爆病院	2チーム	3	4	3	10
庄原赤十字病院	1チーム	1	3	2	6
三原赤十字病院	1チーム	2	3	4	9
合 計	4チーム	6	10	9	25

(5) 救援物資

災害に備え、毛布や緊急セット等の救援物資を備蓄しており、要請に応じて被災者へ配布しました。

■救援物資備蓄状況

備蓄場所	毛布 (枚)	緊急セット (セット)	バスタオル (枚)	安眠セット (セット)	タオルケット (枚)	寝衣(着)	
						大人	子供
広島県支部	3,612	3,087	621	384	482	41	322
庄原赤十字病院	550	300	—	—	—	—	—
三原赤十字病院	900	246	—	—	—	—	—
日本赤十字広島看護大学	1,000	—	—	—	—	—	—
地区・分区	461	168	447	211	7	245	149
合計	6,523	3,801	1,068	595	489	286	471



災害救助物資保管倉庫（庄原赤十字病院）



災害救助物資保管倉庫（三原赤十字病院）

■救援物資配布状況

被災世帯数	被災者数(人)	毛布 (枚)	緊急セット (セット)	バスタオル (枚)	安眠セット (セット)	タオルケット (枚)	寝衣(着)	
							大人	子供
73	167	144	76	142	155	0	129	8



緊急セット



安眠セット

(6) 救護資器材・車両の整備

日本赤十字社では、災害時において電気・水道等のライフラインが停止した場合に備え、必要とする電気・燃料・食糧等の物資はすべて自分たちで用意する自己完結型の救護活動を原則としており、各種の資器材を平時から備えています。

また、災害時に迅速かつ多様な活動ができるよう災害救援車両を各種整備しています。

■主要救護用資器材等保有状況

名称		数量	名称	数量	名称	数量
業務用無線 (150MHz)	基地局	4局	トリアージテント	3張	担架	70台
	移動局	48局	パイプテント	14張	発電機	8台
業務用無線 (400MHz)	基地局	1局	ワンタッチテント	3張	投光機(ハルーン・LED)	4台
	移動局	27局	エアーテント	4張	簡易トイレ	12個
アマチュア無線局	1局	ドラッシュテント	3張	医療セット	4セット	
衛星携帯電話	7台	リフトテント	1張	折畳寝台	90台	
折りたたみ式リヤカー	1台	炊出し釜	3個			



支部が所有するテント群



災害救援車（支部）

■災害救援車両

名称	数量（台）
通信指令車	1
d E R U (国内型緊急対応ユニット)	1
救急車	4
災害救援車（赤十字施設）	9

(7) 地区・分区における災害救援車両や資器材の整備

地区・分区での災害救護活動に使用するため、江田島市地区の災害救援車両を更新するとともに、新たに坂町分区へ災害救援車両を整備しました。

■災害救援車両及び資器材整備状況

地区・分区名		車両 (台)	テント (張)	炊出し釜 (個)	地区・分区名	車両 (台)	テント (張)	炊出し釜 (個)
広島市	中区	1	—	1	大竹市	1	2	3
	東区	1	1	1	東広島市	3	11	2
	南区	1	1	—	廿日市市	2	13	2
	西区	1	1	1	安芸高田市	1	19	2
	安佐南区	—	—	1	江田島市	1	6	1
	安佐北区	1	3	1	海田町	1	5	3
	安芸区	1	2	2	府中町	—	3	3
	佐伯区	1	3	3	熊野町	—	4	1
呉市		1	13	1	坂町	1	3	1
竹原市		1	2	1	安芸太田町	—	6	2
三原市		1	13	1	北広島町	2	7	1
尾道市		1	10	6	大崎上島町	1	7	1
福山市		1	9	4	世羅町	1	6	2
府中市		1	2	1	神石高原町	—	6	—
三次市		1	20	4	合計	29	189	53
庄原市		1	11	1				



車両等の引き渡し式（贈 協和鉱業株式会社）



地区・分区に整備された車両（贈 協和鉱業株式会社）

(8) 防災ボランティアの養成状況

災害救護活動を十分に実施するうえで大きな原動力となるため、当支部において、防災ボランティアを養成しています。

日本赤十字社本社が1月16日に開催した赤十字防災ボランティアリーダー養成研修に参加し、赤十字防災ボランティアリーダー1名を養成しました。



災害対策本部で活動する赤十字防災ボランティア

■赤十字防災ボランティア登録者数

名称	登録者数 (人)
赤十字防災ボランティアリーダー	5
赤十字防災ボランティアサブリーダー（リーダー候補者）	4
合計	9

(9) 防災教育事業の実施

ア 赤十字防災セミナーの開催

日本赤十字社防災教育事業として、赤十字防災セミナーは地域コミュニティにおける「自助」と「共助」の力を高めることを目的として実施しています。

また、一部のセミナーについては、新型コロナウイルス感染症への感染防止の観点からWEBにより開催しました。

■赤十字防災セミナー実施状況

カリキュラム	内容	回数 (回)	受講者 (人)
災害への備え (講義)	災害・防災についての考え方や地震・大雨災害など災害別の想定被害等から平時の備えの重要性を理解する。	4	355
災害エスノ グラフィー	大規模災害の被災者の経験談を通じて、災害を追体験することで被災の具体的なイメージを理解する。	開催無し	—
災害図上訓練 (D I G)	地域の防災マップの作成を通じて、防災上の資源や危険箇所等を把握・理解し、個人や地域での防災対策の実施につなげる。	開催無し	—

イ 「ぼうさいこくたい 2020」への参加

内閣府、防災推進協議会及び防災推進国民会議等の主催により令和2年10月3日に開催された「ぼうさいこくたい 2020」へ日本赤十字社としてワークショップを出展し、本社と当支部職員及び、健康・栄養赤十字奉仕団委員長が参加しました。

ワークショップは、平成30年7月豪雨災害における当支部の救護活動報告や、赤十字防災セミナーのカリキュラム「災害への備え」に感染症対策や避難生活で気を付けたい「食・栄養」について実施しました。



ワークショップの様子

(10) 国内義援金の受付

国内各地で発生した災害に対し、義援金を受け付けました。集められた義援金は全額、各被災都道府県に設置された義援金配分委員会に送金され、同委員会で定める配分基準に従って被災者に届けられます。

■義援金受付状況（令和2年度広島県支部受付分）

名称	受付期間	件数 (件)	金額 (円)
東日本大震災義援金	4月1日～3月31日	110件	937,458円
平成28年熊本地震災害義援金	4月1日～3月31日	51件	152,259円
平成29年7月5日からの大雨災害義援金	4月1日～3月31日	42件	83,114円
平成30年7月豪雨災害義援金（広島）	4月1日～3月31日	592件	40,093,710円
令和元年8月豪雨災害義援金	4月1日～8月31日	39件	140,044円
令和元年台風第15号千葉県災害義援金	4月1日～6月30日	21件	31,141円
令和元年台風第19号災害義援金	4月1日～3月31日	127件	1,828,833円
令和2年7月豪雨災害義援金	7月7日～3月31日	646件	18,639,439円
令和3年2月福島県沖地震災害義援金	2月24日～3月31日	20件	1,389,452円

2 講習普及事業

地域住民の健康と安全を守る救急法等の講習を一般の方に広く普及するため、町内会をはじめ企業や学校等に対して実施しました。

新型コロナウイルス感染症の感染防止の観点から、受講者及び指導員の安全を確保するため、人工呼吸や人と人が接触する実技、3つの密が避けられないグループワーク等は実施できませんでしたが、実施できない内容については動画等を用いて説明を行いました。



感染防止対策を講じながらの実技演習

【主な感染防止対策（各講習共通）】

- ① 事前に受講者及び指導員の健康状態をチェックする。
- ② 受講者と受講者の間隔を2m程度確保できる広さの会場であること。
- ③ 受講者間での講習資器材（訓練人形やAED等）の共有はせず、一人一つの資器材で実技を行う。
- ④ 講習前後の手洗い・手指消毒の徹底。
- ⑤ 使用前後の講習資器材の消毒。

（1）救急法

ア 一般普及講習・短期講習

病気、けがや災害から自分自身を守るとともに、けが人や急病人を正しく救助して医師又は救急隊員等に引き継ぐまでの救命手当（心肺蘇生、AEDによる除細動、異物除去等）や応急手当（止血の仕方、三角巾の使い方、骨折の固定方法等）の知識や技術を普及することを目的とした講習を支部、地域や職場、学校等で実施しました。

■講習実施状況（救急法）

名称	計画 (回数)	実績			
		回数	受講者（人）	修了者（人）	認定者（人）
基礎講習	58	26	597	596	—
救急員養成講習	20	3	267	—	0
指導員養成講習	1	0	0	—	0
短期講習	310	163	4,480	—	—
合計	389	192	5,344	596	0

※「計画（回数）」とは、予算編成時に策定した講習別の実施予定回数。

■地域別講習実施状況（救急法）

市区町名	基礎講習		救急員養成講習		短期講習		
	回数	受講者（人）	回数	受講者（人）	回数	受講者（人）	
広島市	中区	8	156	—	—	21	340
	東区	2	52	—	—	10	284
	南区	—	—	—	—	18	725
	西区	1	4	—	—	15	261
	安佐南区	3	29	—	—	17	411
	安佐北区	—	—	—	—	9	226
	安芸区	—	—	—	—	6	131
	佐伯区	—	—	—	—	7	193
	小計	14	241	—	—	103	2,571
呉市	—	—	—	—	—	5	217
竹原市	—	—	—	—	—	2	35
三原市	—	—	—	—	—	13	483
尾道市	6	57	—	—	—	1	5
福山市	—	—	—	—	—	3	129
府中市	—	—	—	—	—	2	34
三次市	—	—	—	—	—	1	19
庄原市	—	—	—	—	—	1	9
大竹市	—	—	—	—	—	2	44
東広島市	—	—	—	—	—	6	79
廿日市市	1	125	1	125	2	—	41
安芸高田市	—	—	—	—	—	—	—
江田島市	—	—	—	—	—	5	88
府中町	—	—	—	—	—	6	404
海田町	3	32	—	—	—	4	112
熊野町	—	—	—	—	—	1	39
坂町	2	142	2	142	4	—	129
安芸太田町	—	—	—	—	—	1	32
北広島町	—	—	—	—	—	—	—
大崎上島町	—	—	—	—	—	—	—
世羅町	—	—	—	—	—	1	10
神石高原町	—	—	—	—	—	—	—
県外	—	—	—	—	—	—	—
合計	26	597	3	267	163	—	4,480

イ 指導員養成講習

救急法講習普及計画に基づき、赤十字の使命を理解し、十分な知識と技術を持った指導力のある実働的な指導員の養成を図ることを目的として実施予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の流行状況に鑑み、感染拡大防止の観点から中止となりました。

ウ 指導員研修会等

救急法指導員を対象に知識・技術・指導法の維持向上を目的とした指導員研修会をWEBにて実施しました。（他の講習における指導員研修との合同開催）

■指導員研修会実施状況（救急法）

場所	日程	受講者（人）
広島県支部	3月12日	63
広島県支部	3月14日	62
合計		125

■指導員登録状況（救急法）

ボランティア指導員（人）	職員指導員（人）	合計（人）
155	62	217

（2）水上安全法

ア 一般普及講習・短期講習

水の事故から生命を守り、泳ぎの基本と自己保全、溺者の救助、救命・応急手当等、水難救助に関する総合的な知識と技術を普及することを目的とした講習を支部、地域や職場、学校等で実施しました。

■講習実施状況（水上安全法）

名称	計画 (回数)	実績		
		回数	受講者（人）	認定者（人）
救助員養成講習Ⅰ	3	0	0	—
救助員養成講習Ⅱ	1	0	0	—
指導員養成講習	1	0	0	0
短期講習	34	14	244	—
合計	39	14	244	—

※「計画（回数）」とは、予算編成時に策定した講習別の実施予定回数。

■地域別講習実施状況（水上安全法）

市区町名		救助員Ⅰ養成講習		救助員Ⅱ養成講習		短期講習	
		回数	受講者（人）	回数	受講者（人）	回数	受講者（人）
広島市	中区	—	—	—	—	—	—
	東区	—	—	—	—	1	6
	南区	—	—	—	—	1	10
	西区	—	—	—	—	3	43
	安佐南区	—	—	—	—	—	—
	安佐北区	—	—	—	—	—	—
	安芸区	—	—	—	—	2	90
	佐伯区	—	—	—	—	1	28
	小計	—	—	—	—	8	177
呉市		—	—	—	—	—	—
竹原市		—	—	—	—	2	23
三原市		—	—	—	—	—	—
尾道市		—	—	—	—	1	11
福山市		—	—	—	—	—	—
府中市		—	—	—	—	—	—
三次市		—	—	—	—	—	—
庄原市		—	—	—	—	—	—
大竹市		—	—	—	—	—	—
東広島市		—	—	—	—	2	22
廿日市市		—	—	—	—	—	—
安芸高田市		—	—	—	—	—	—
江田島市		—	—	—	—	—	—
府中町		—	—	—	—	—	—
海田町		—	—	—	—	—	—
熊野町		—	—	—	—	—	—
坂町		—	—	—	—	—	—
安芸太田町		—	—	—	—	—	—
北広島町		—	—	—	—	—	—
大崎上島町		—	—	—	—	1	11
世羅町		—	—	—	—	—	—
神石高原町		—	—	—	—	—	—
県外		—	—	—	—	—	—
合計		—	—	—	—	14	244

イ 指導員養成講習

水上安全法講習普及計画に基づき、赤十字の使命を理解し、十分な知識と技術を持った指導力のある実働的な指導員の養成を図ることを目的として実施予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の流行状況に鑑み、感染拡大防止の観点から中止となりました。

ウ 指導員研修会等

水上安全法指導員を対象に知識・技術・指導法の維持向上を目的とした指導員研修会をWEBにて実施しました。（他の講習における指導員研修との合同開催）

■指導員研修会実施状況（水上安全法）

場所	日程	受講者（人）
広島県支部	3月12日	10
広島県支部	3月14日	9
合計		19

■指導員登録状況（水上安全法）

ボランティア指導員（人）	職員指導員（人）	合計（人）
39	4	43

（3）健康生活支援講習

ア 一般普及講習・短期講習

高齢期を健やかに事故なく過ごすために必要な知識・技術、高齢者自立支援に必要な介護技術等を普及することを目的とした講習を支部、地域等で実施しました。

また、避難所における不自由な生活から高齢者を守るために知っておきたい知識や支援技術について学ぶ災害時高齢者生活支援講習を実施しました。

■講習実施状況（健康生活支援講習）

名称	計画 (回数)	実績			
		回数	受講者（人）	修了者（人）	認定者（人）
支援員養成講習	4	0	0	—	—
災害時高齢者生活支援講習	6	0	0	—	—
短期講習	9	5	92	—	—
合計	19	5	92	—	—

※「計画（回数）」とは、予算編成時に策定した講習別の実施予定回数。

■地域別講習実施状況（健康生活支援講習）

市区町名		支援員養成講習		災害時高齢者生活支援講習		短期講習（災害時以外）	
		回数	受講者（人）	回数	受講者（人）	回数	受講者（人）
広島市	中区	—	—	—	—	—	—
	東区	—	—	—	—	—	—
	南区	—	—	—	—	—	—
	西区	—	—	—	—	—	—
	安佐南区	—	—	—	—	—	—
	安佐北区	—	—	—	—	—	—
	安芸区	—	—	—	—	—	—
	佐伯区	—	—	—	—	—	—
	小計	—	—	—	—	—	—
県外	呉市	—	—	—	—	2	41
	竹原市	—	—	—	—	—	—
	三原市	—	—	—	—	—	—
	尾道市	—	—	—	—	1	5
	福山市	—	—	—	—	—	—
	府中市	—	—	—	—	—	—
	三次市	—	—	—	—	—	—
	庄原市	—	—	—	—	1	31
	大竹市	—	—	—	—	—	—
	東広島市	—	—	—	—	1	15
	廿日市市	—	—	—	—	—	—
	安芸高田市	—	—	—	—	—	—
	江田島市	—	—	—	—	—	—
	府中町	—	—	—	—	—	—
	海田町	—	—	—	—	—	—
	熊野町	—	—	—	—	—	—
	坂町	—	—	—	—	—	—
	安芸太田町	—	—	—	—	—	—
	北広島町	—	—	—	—	—	—
	大崎上島町	—	—	—	—	—	—
	世羅町	—	—	—	—	—	—
	神石高原町	—	—	—	—	—	—
	県外	—	—	—	—	—	—
合計		—	—	—	—	5	92

イ 指導員研修会等

健康生活支援講習指導員を対象に知識・技術・指導法の維持向上を目的とした指導員研修会をWEBにて実施しました。（他の講習における指導員研修との合同開催）

■指導員研修会実施状況（健康生活支援講習）

場所	日程	受講者（人）
広島県支部	3月12日	15
広島県支部	3月14日	7
合計		22

■指導員登録状況（健康生活支援講習）

ボランティア指導員（人）	職員指導員（人）	合計（人）
21	25	46

（4）幼児安全法

ア 一般普及講習・短期講習

子どもが家庭や地域で健やかに育っていくよう、子どもの成長・発達に伴う事故の予防と急病の対応及び万一に備えての救命・応急手当の知識や技術を普及することを目的とした講習を支部、地域や職場、保育所等で実施しました。

■講習実施状況（幼児安全法）

名称	計画 (回数)	実績		
		回数	受講者（人）	認定者（人）
支援員養成講習	5	0	0	—
短期講習	139	96	1,546	—
合計	144	96	1,546	—

※「計画（回数）」とは、予算編成時に策定した講習別の実施予定回数。

■地域別講習実施状況（幼児安全法）

市区町名	支援員養成講習		短期講習	
	回数	受講者（人）	回数	受講者（人）
広島市	中区	—	—	8 214
	東区	—	—	14 197
	南区	—	—	5 104
	西区	—	—	3 55
	安佐南区	—	—	14 281
	安佐北区	—	—	4 61
	安芸区	—	—	—
	佐伯区	—	—	4 96
小計		—	52	1,008
呉市	—	—	2	26
竹原市	—	—	—	—
三原市	—	—	23	223
尾道市	—	—	3	32
福山市	—	—	8	168
府中市	—	—	—	—
三次市	—	—	1	16
庄原市	—	—	—	—
大竹市	—	—	—	—
東広島市	—	—	3	41
廿日市市	—	—	1	8
安芸高田市	—	—	—	—
江田島市	—	—	—	—
府中町	—	—	—	—
海田町	—	—	2	12
熊野町	—	—	1	12
坂町	—	—	—	—
安芸太田町	—	—	—	—
北広島町	—	—	—	—
大崎上島町	—	—	—	—
世羅町	—	—	—	—
神石高原町	—	—	—	—
県外	—	—	—	—
合計	—	—	96	1,546

イ 指導員研修会等

幼児安全法講習指導員を対象に知識・技術・指導法の維持向上を目的とした指導員研修会をWEBにて実施しました。（他の講習における指導員研修との合同開催）

■指導員研修会実施状況（幼児安全法）

場所	日程	受講者（人）
広島県支部	3月12日	19
広島県支部	3月14日	19
	合計	38

■指導員登録状況（幼児安全法）

ボランティア指導員（人）	職員指導員（人）	合計（人）
36	33	69



背部叩打法による気道異物除去



感染防止対策を講じながらの実技演習

3 赤十字ボランティア

赤十字奉仕団は、赤十字の人道・博愛の精神に基づき、明るく住みよい社会を築き上げていくために様々なボランティア活動を展開しています。

この赤十字奉仕団は、「地域赤十字奉仕団」「青年赤十字奉仕団」「特殊赤十字奉仕団」の3つに分類され、県内に合わせて36団体組織されています。

また、各種奉仕団の連携強化や活動の充実を図るため、委員会や研修会等を実施しています。

■委員会・研修会等実施状況

名称	日程	場所	参加者(人)
第1回広島県赤十字奉仕団支部委員会	6月8日	広島県支部	5
ボランティア活動充実のための体制作り検討会	11月2日	本社(WEB)	2
赤十字ボランティア養成研修ガイドブック勉強会	2月5日、12日、19日	本社(WEB)	4
ボランティア活動充実に向けた研究会	3月10日	本社(WEB)	2
第1回広島県赤十字奉仕団委員長会議	—	—	新型コロナウイルス感染症 感染拡大防止 のため中止
赤十字ボランティア基礎研修会	—	—	
赤十字ボランティアリーダー研修会	—	—	
第2回広島県赤十字奉仕団支部委員会	—	—	
第2回広島県赤十字奉仕団委員長会議	—	—	
赤十字奉仕団委員長交流研修会	—	—	

(1) 地域赤十字奉仕団

地域赤十字奉仕団は、各地域における赤十字事業を第一線で支えるボランティア組織として、主に市町単位に組織され、活動資金募集活動や赤十字思想の普及活動に取り組むほか、高齢者支援活動（給食サービス・友愛訪問等）、社会福祉施設の訪問や地域福祉活動等のそれぞれの地域のニーズに応じた活動を展開しています。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により活動が制限される中で奉仕団自ら布マスクの製作に取り組みました。製作したおよそ2,000枚のマスクは地域の保育園や地区の社会福祉協議会など一般の方へ配られました。



製作された布マスク



地区に配布する因島やすらぎ赤十字奉仕団

■地域赤十字奉仕団一覧

名称	結成年度	団員(人)
呉市赤十字奉仕団	昭和 26 年度	1,092
竹原市女性連絡協議会赤十字奉仕団	昭和 33 年度	1,139
広島市女性赤十字奉仕団	昭和 35 年度	7,000
坂町赤十字奉仕団	昭和 63 年度	55
神辺町赤十字奉仕団	平成 元年度	51
江田島市赤十字奉仕団	平成 元年度	240
安芸津町女性赤十字奉仕団	平成 2 年度	69
木江赤十字奉仕団	平成 2 年度	36
尾道市赤十字奉仕団	平成 5 年度	36
三原市赤十字奉仕団	平成 5 年度	23
東広島市赤十字奉仕団	平成 5 年度	23
三和町赤十字奉仕団	平成 6 年度	45
福山市赤十字奉仕団	平成 9 年度	32
本郷町赤十字奉仕団	平成 9 年度	147
因島やすらぎ赤十字奉仕団	平成 10 年度	31
向島町はなみずき赤十字奉仕団	平成 12 年度	14
庄原市赤十字奉仕団	平成 17 年度	82
尾道市瀬戸田町さくら赤十字奉仕団	平成 20 年度	23
世羅町赤十字奉仕団	平成 20 年度	30
海田町おもちやの病院赤十字奉仕団	平成 20 年度	14
府中町防災研究会赤十字奉仕団	平成 22 年度	22
府中市赤十字奉仕団	平成 24 年度	20
はつかいちし災害救援ボランティアネットワーク赤十字奉仕団	平成 26 年度	16
熊野町女性会赤十字奉仕団	平成 26 年度	24
合計	24 団	10,264

■委員会等参加状況

名称	日程	場所	参加者(人)
赤十字奉仕団中央委員会	12月3日	本社 (WE B)	1

(2) 青年赤十字奉仕団

青年赤十字奉仕団は、県内の大学・短期大学等の学生や社会人によって組織されており、社会福祉施設への定期訪問や若年層を中心とした献血推進活動、義援金募集活動等に取り組んでいます。

その他、NHK海外たすけあいキャンペーンでは、新型コロナウイルス感染症への感染対策を施した上で、街頭募金と支援バザーを実施しました。



広島県青年赤十字奉仕団ボランティア研修会



広島市内の街頭でNHK海外たすけあい募金を実施

■青年赤十字奉仕団一覧

名称	結成年度	団員(人)
山陽女子短期大学赤十字ボランティアサークル	昭和 62 年度	40
世羅地区夢工房四季青年赤十字奉仕団	昭和 62 年度	11
広島県青年赤十字奉仕団	平成 10 年度	46
日本赤十字広島看護大学学生赤十字奉仕団	平成 18 年度	25
安田女子大学赤十字奉仕団	平成 28 年度	16
合計	5 団	138

■協議会・研修会等参加状況

名称	日程	場所	参加者(人)
第5ブロック青年赤十字奉仕団連絡協議会	6月 13 日～14 日	山口県 (W E B)	2
広島県青年赤十字奉仕団新入団員研修会	10月 5 日	広島県支部	26
広島県青年赤十字奉仕団ボランティア研修会	11月 28 日		19



広島青年赤十字奉仕団新入団員研修会



広島県青年赤十字奉仕団ボランティア研修会

(3) 特殊赤十字奉仕団

アマチュア無線やバイク等専門的な技術や資格を有する特殊赤十字奉仕団は、その特性を活かした災害救護活動や赤十字病院内でのボランティア活動、青少年赤十字の支援、防災活動等を行っています。

また、3月には水の事故防止の啓発活動、赤十字水上安全法の講習の実施・普及等を目的とした「広島県赤十字水上安全奉仕団」が結成されました。

■特殊赤十字奉仕団一覧

名称	結成年度	団員(人)
すみれ会赤十字奉仕団	昭和 51 年度	14
広島県安全赤十字奉仕団	昭和 57 年度	86
広島県アマチュア無線赤十字奉仕団	平成 3 年度	90
広島レスキューサポートバイク赤十字奉仕団	平成 10 年度	25
広島県青少年赤十字賛助奉仕団	平成 14 年度	30
健康・栄養赤十字奉仕団	令和元年度	28
広島県赤十字水上安全奉仕団	令和 2 年度	27
合計	7 団	300

■協議会・研修会等参加状況

名称	日程	場所	参加者(人)
全国青少年赤十字賛助奉仕団総会	11月9日	本社 (W E B)	1
中四国ブロック青少年赤十字賛助奉仕団協議会・研修会	10月8日～9日	岡山県 (W E B)	1
中国・四国ブロック赤十字奉仕団研修会	—	—	新型コロナウイルス感染症 感染拡大防止のため中止

4 青少年赤十字

青少年赤十字は、赤十字の基本理念である「人道」に基づき、「やさしさ」や「思いやり」を行動に移せる青少年の育成を、学校教育の中で実践することを目的とし、3つの実践目標と3つの態度目標を掲げています。

3つの実践目標

- | | |
|-----------|--------------------------------|
| 『健康・安全』 | 生命と健康を大事にする。 |
| 『奉仕』 | 人間として社会のため、人のためにつくす責任を自覚し実行する。 |
| 『国際理解・親善』 | 広く世界の青少年を知り、仲良く助け合う精神を養う。 |

3つの態度目標

- | | |
|--------|----------------------|
| 『気づき』 | 注意深い生活を心がけ、自ら課題に気づく。 |
| 『考え』 | 原因や問題解決の道筋を考える。 |
| 『実行する』 | 解決のために実行する。 |

(1) 青少年赤十字加盟校

県内 272 の学校・園が青少年赤十字に加盟しており、研修会やリーダーシップ・トレーニング・センターへの参加等、様々な活動を行っています。

■青少年赤十字加盟状況

区分	加盟校（校）	メンバー（人）
幼稚園・保育所	34	4,519
小学校	107	38,085
中学校	84	26,646
高等学校	42	11,073
特別支援学校	5	689
合計	272	81,012



安芸太田町立上殿小学校による「やまゆり訪問」



広島県高等学校総合文化祭

(2) 青少年赤十字研修会・講習会等

青少年赤十字広島県指導者研修会は、青少年赤十字の指導にあたる学校・園の指導者を対象とし、指導者の養成・研修を行っています。

本社や第5ブロックの研修会等では、他県の指導者と積極的な意見交換・相互指導の場として活用しています。

令和2年度は、研修会等の多くがWEBで開催されました。11月に開催された国際交流集会は、日本から41都道府県、東南アジアを中心に21か国の高校生合わせて約400名の高校生がWEB集会に参加しました。

■研修会・講習会等参加状況

名称	日程	場所	参加者(人)
青少年赤十字全国指導者協議会総会・研修会	9月11日	本社(WEB)	1
第5ブロック青少年赤十字指導者協議会並びに青少年赤十字事務担当者会議	10月13日	山口県(WEB)	2
青少年赤十字国際交流集会	11月15日	本社(WEB)	2
青少年赤十字指導主事対象研究会	1月8日	本社(WEB)	1
青少年赤十字広島県指導者研修会	—	—	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止



青少年赤十字国際交流集会の様子



本県から参加した広島市立舟入高等学校の生徒たち

(3) 青少年赤十字広島県リーダーシップ・トレーニング・センター等

ア 青少年赤十字広島県リーダーシップ・トレーニング・センター

県内の児童・生徒を対象とし、赤十字や青少年赤十字に関する知識や赤十字救急法等の技術を学びながら、集団生活の中でリーダーとして必要な自主・自立の精神を身につけます。

名称	日程	場所	参加者(人)	指導者(人)
青少年赤十字広島県リーダーシップ・トレーニング・センター	—	—	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止	

イ 青少年赤十字スタディ・センター

青少年赤十字スタディ・センターは、本社が主催する青少年赤十字リーダー養成のための宿泊型研修会です。各都道府県の青少年赤十字加盟校（高等学校）の代表生徒が山梨県にある山中湖東照館で4泊5日におよぶ研修会に参加しています。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、WEBによる研修（スタディ・プログラム）として開催され、本県からは、県内の高校生の代表として、青少年赤十字広島県高等学校協議会の役員生徒8名が参加しました。



他県の高校生と意見交換する生徒たち

名称	日程	場所	参加者(人)
青少年赤十字スタディ・プログラム	3月20日	本社（WEB）	8

（4）日本・韓国青少年赤十字相互交流事業

大韓赤十字社忠南支社との間で、国際理解・親善の具体的な実践の場として、交流を通じ互いの生活習慣や歴史文化を学びながら相互理解、友情、協力を深めています。

日程	中・高校生参加者(人)	指導者(人)
受入：7月26日～7月31日		
派遣：8月4日～8月9日	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止	

（5）青少年赤十字広島県大会

青少年赤十字加盟校の相互交流とメンバーの親善を深めるとともに、青少年赤十字活動の充実・発展を図ることを目的として、開催しています。永年継続加盟校の表彰、中学校・高等学校の各校による活動発表や分科会を行っています。

名称	日程	場所	参加者(人)
青少年赤十字広島県大会	—	—	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止

(6) 広島県青少年赤十字研究会

青少年赤十字加盟校の指導者を対象に、学校教育における青少年赤十字の現状と成果を理解し、今後の青少年赤十字活動の普及及び活性化を図ることを目的に研究会を開催しています。プログラムの中では、青少年赤十字研究推進校の活動報告のほか、指導者による積極的な意見交換が行われます。

名称	日程	場所	参加者(人)
広島県青少年赤十字研究会	—	—	新型コロナウイルス感染症 感染拡大防止のため中止

(7) 青少年赤十字活動資金（通称：1円玉募金）

青少年赤十字では、実践目標のひとつ「国際理解・親善」の一環として、世界で苦しんでいる同世代の子どもたちのために募金活動（1円玉募金）を行っています。

令和2年度は、県内1園が集めた1円玉募金を受け付けました。

■ 1円玉募金受付状況

件数(件)	金額(円)
1	693

5 国際活動

日本赤十字社は、国際赤十字の一員として、世界192の国と地域の赤十字・赤新月社やジュネーブにある赤十字の国際機関とともに、緊急救援・復興支援や開発協力等を実施しています。

(1) 国際救援・開発協力要員の登録状況

日本赤十字社では、海外で発生した災害や保健衛生事業に従事するための要員を「国際救援・開発協力要員（以下、「要員」という。）」として常時登録しています。

日本赤十字社本社が1月26日～2月2日に開催した国際救援・開発協力要員研修II（IM PACT Online）に参加し、要員1名を養成しました。

■ 県内登録状況

施設名	医師(人)	看護師(人)	薬剤師(人)	事務(人)	合計(人)
日本赤十字社広島県支部	0	0	0	1	1
広島赤十字・原爆病院	2	1	1	2	6
三原赤十字病院	0	0	0	1	1
合計	2	1	1	4	8

(2) 国際活動参加事業

第5ブロック及び当支部は、国際赤十字の一員として、本社が行う国際活動に係る職員の派遣、国際支援事業への財政的・物的支援を行っています。令和2年度には、次の国際支援事業への財政的支援を行いました。

ア アジア・大洋州 給水・衛生災害対応キット整備事業（第5ブロック共同参加）

アジア・大洋州地域の災害多発国赤十字社が、給水・衛生災害対応キットを計画的に配備し、災害時に効果的に給水や衛生活動を展開できるよう各国赤十字社のスタッフ・ボランティアの研修と人材育成のための事業資金支援を行いました。



イ 東ティモール救急法普及支援事業

東ティモール民主共和国は、交通網や救急医療システムが不十分なため、救急隊の到着までに3～4時間要する場合もあり、市民が自らの手で命を守る救急法の普及が重要な課題となっていることから、現地のボランティアへの救急法の研修、指導者のスキルアップのための技術指導支援や資器材整備支援のための事業資金支援を行いました。



ウ ネパール・コミュニティ防災強化事業

ネパール連邦民主共和国は、自然災害や国内紛争と政情不安などにより、公共サービスが立ち遅れていますことから、災害に備えた強い地域づくりと、保健医療体制の強化、衛生環境の改善、災害リスクの削減軽減に対する能力向上のための事業資金支援を行いました。



(3) 海外救援金

海外で突発的に発生した大規模災害や紛争発生時に募集する救援金を受け付けました。集められた救援金は被災国の赤十字社が行う被災者支援に役立てられます。

■海外救援金受付状況（令和2年度広島県支部受付分）

名称	受付期間	件数（件）	金額（円）
中東人道危機救援金	4月1日～3月31日	2	60,000
バングラデシュ南部避難民救援金	4月1日～3月31日	1	30,000

(4) 「NHK海外たすけあい」（第38回）キャンペーン

「NHK海外たすけあい」キャンペーンは世界各地の紛争や自然災害、病気などに苦しむ人々を救うために、日本赤十字社が昭和58年から毎年12月にNHKと共同で実施しています。

支部では、青年赤十字奉仕団が中心となり、チャリティイベントとして協賛企業から提供された食料品等の販売による支援バザーを開催し、その売り上げを寄付しました。

■受付状況

名称	受付期間	件数（件）	金額（円）
NHK海外たすけあいキャンペーン	12月1日～25日	2,465	17,119,179



青少年赤十字メンバーによる街頭募金



青年赤十字奉仕団による支援バザー

6 赤十字思想の普及

赤十字の理念や活動について県民の理解を深めるため、5月の赤十字運動月間での赤十字レッドライトプロジェクトの実施や将来を担う子供たちへの青少年赤十字PR活動、また年間を通じ、リーフレット等を配布し、赤十字思想の普及に努めています。

(1) イベント

ア レッドライトアッププロジェクト 2020

(ア) 日程 5月8日～14日

(イ) 内容 赤十字の創始者アンリー・デュナン生誕の日

(5月8日)を世界赤十字デーと定め、「人道」への理解を深めていただくことを目的として、歴史的建造物やランドマーク施設を赤くライトアップする。

(ウ) 場所 広島市中区(おりづるタワー)



赤くライトアップされたおりづるタワー

イ ACTION! 防災・減災

～救うを託されている。～

(ア) 期間 3月1日～31日

(イ) 内容 東日本大震災から10年を機に、「ACTION! 防災・減災」プロジェクトをスタート。

未来に目を向け、「防災・減災への備え」の大切さについてともに考え、一人ひとりが自分ごと化して、自分自身や家族、大切な人たちの命を救う具体的な行動(ACTION)を起こすきっかけとする。



東日本大震災から10年が経った日本。しかし、復興はまだ半ば。現地での活動は今なお続いている。

そして、災害は発生のときにこの国を襲うだけ。他の国が大きな被害をもたらしている。

新型コロナウイルス流行では世界中の医療機関へ医療物資を必要にしています。

災害が起きると必ず犠牲者が出ます。一人でも多く、それだけの被害者が。

地域が、患者さんたちの命を守るために何をどこでどう必要なのです。

私たち赤十字は、守護から、立派の一歩を踏み出しています。

被災地での医療や被災地衛生を継続して行なうとともに災害現場へ医療土産を製造販売する。

災害時に必要な医療用薬、被災者用小物などをための販売センターを行なう。

これらの活動は、みなさまの要請で行われています。

被災地を守る、被災されたら、これからも二度目には絶対に二度目を防いでいきます。

赤十字の活動にご理解ください。□ オリジナルに登録する □ 絶対セラーに登録する □ 営業で登録する

ACTION! 防災・減災
— 1 —

救うを託されている。 +

ウ 2020ひろしまフラワーフェスティバル

(ア) 日程 5月2日～5日

※新型コロナウィルス感染症感染拡大防止のため中止

エ 赤十字フェスタ in ひろしま

(ア) 日程 9月12日(ワールド・ファストエイド・デー)

※新型コロナウィルス感染症感染拡大防止のため中止

(2) 広報媒体

ア 路面電車へのラッピング広告

(ア) 期間 通年

(イ) 内容 赤十字をアピールするため、日本赤十字社キャラクターと、献血キャラクターで装飾したラッピング電車を、広島電鉄宮島線（広島駅～広電宮島口駅）で1日7往復運行。



イ テレビCM

(ア) 期間 5月の赤十字運動月間～年度末

(イ) 内容 赤十字の支援者としての会員の増強と会費・寄付金を募るため、民放テレビ4局で放送。



ウ 看板広告（更新）

(ア) 期間 通年

(イ) 内容 赤十字思想の普及と支援者からの会費・寄付金増強のため、平成26年から広島電鉄宮島線高須駅構内に交通広告を設置。



人間を救うのは、人間だ。

エ 「平成30年7月豪雨日本赤十字社広島県支部の活動記録」

(ア) 部数 400部

(イ) 発行 6月29日

(ウ) 内容 平成30年7月に発生した大規模災害において、全国から結集した赤十字スタッフと、赤十字ボランティアによる約2か月間に及ぶ活動記録



人間を救うのは、人間だ。Be with. Your move.

日本赤十字社 広島県支部
Japanese Red Cross Society

7 会員と活動資金

支部の事業は、会員や協力会員の皆さまからの活動資金と、広く寄せられる寄付金や地域の方々をはじめ、地区・分区担当者や赤十字奉仕団員の協力に支えられています。

(1) 会員

「会員」とは、人道を原則とする赤十字の活動に賛同し、毎年 2,000 円以上の資金協力をしていただく方のことです。

また、「協力会員」は、会員以外の者で赤十字の活動に賛同し、目安として毎年 500 円以上の資金協力をしていただく方のことです。

■会員状況

種別	区分	会員数（人・法人）
会 員	個 人	3,178
	法 人	2,079
協力会員	—	335,506
合計		340,763

(2) 活動資金

「活動資金」とは、会員の皆さまからの会費と、協力会員の皆さまから提供された資金や広く寄せられる寄付金のことです。

活動資金は、地区・分区による町内会・自治会を通じたもののほか、クレジットカードや口座振替、募金箱、寄付金付自動販売機やダイレクトメールなどにより募集しています。

■活動資金募集状況

区分	実績額（円）
一 般	293,564,391
法 人	56,149,936
合計	349,714,327

■地域別活動資金募集状況

地区・分区名	一般（円）	法人（円）	合計（円）
広島市	62,928,059	612,000	63,540,059
呉市	26,495,387	310,000	26,805,387
竹原市	4,015,400	0	4,015,400
三原市	8,971,650	24,000	8,995,650
尾道市	17,020,430	2,000	17,022,430
福山市	25,243,305	230,223	25,473,528
府中市	3,505,800	1,000	3,506,800
三次市	5,941,550	0	5,941,550
庄原市	4,822,000	0	4,822,000
大竹市	3,163,500	0	3,163,500
東広島市	13,516,991	126,000	13,642,991
廿日市市	10,349,550	120,000	10,469,550
安芸高田市	3,963,800	0	3,963,800
江田島市	14,171,200	0	14,171,200
府中町	4,352,864	0	4,352,864
海田町	3,049,200	0	3,049,200
熊野町	4,218,800	16,205	4,235,005
坂町	1,686,000	0	1,686,000
安芸太田町	1,223,800	1,000	1,224,800
北広島町	2,632,774	0	2,632,774
大崎上島町	1,675,000	2,000	1,677,000
世羅町	1,920,280	11,596	1,931,876
神石高原町	1,502,800	0	1,502,800
地区・分区計	226,370,140	1,456,024	227,826,164
広島県支部計	67,194,251	54,693,912	121,888,163
合計	293,564,391	56,149,936	349,714,327

（3）企業とのパートナーシップ

継続して活動資金をご支援いただける県内の法人等を「赤十字サポーター」として認定し、CSRや社会貢献活動におけるパートナーシップを確立しています。

※ 赤十字サポーター認定法人数は100社、寄付金付自動販売機の設置台数は100台。

（令和3年3月31日現在）

(4) 赤十字大会

支援者・ボランティア・地区分区担当者等を招集し、全国赤十字大会に参會しています。
令和2年度は、緊急事態宣言が発出されたため、中止となりました。

名称	日程	場所	参加者(人)
令和2年度全国赤十字大会	—	—	新型コロナウイルス感染症 に係る影響を考慮し中止

(5) 広島県赤十字有功会

広島県赤十字有功会は、日本赤十字社広島県支部への活動資金の支援により有功章以上を受章した個人・法人で組織されており、赤十字活動への支援や会員相互の親睦を図ることを目的として、平成17年9月に発足しました。

ア 会員数

335 (個人 71、法人 264)

イ 役員 (任期: 令和2年7月～3年間)

役員名	氏名	現職 (法人)・居住地 (個人)
会長	田村 興造	広島ガス株式会社 代表取締役会長
副会長	部谷 俊雄	株式会社広島銀行 頭取
	小田 宏史	株式会社もみじ銀行 頭取
	松本 和久	株式会社サタケ 代表取締役社長
常任委員	土肥 博雄	広島市
	遠野 光秀	宗教法人法灌寺 住職
	山根 以久子	株式会社サンポール 代表取締役社長
	池田 浩直	鯉城タクシー株式会社 代表取締役社長
	中嶋 栄子	株式会社フカイ 代表取締役
監事	岡田 民男	松電産業株式会社 代表取締役会長
	小松 節子	株式会社メンテックワールド 代表取締役社長

ウ 活動実績

- (ア) 赤十字活動への支援 (講習普及事業 (幼児安全法) 訓練人形の整備)
- (イ) 赤十字事業に関する情報の提供 (有功会報第18号発行 (令和3年1月) 1,700部等)

8 看護師等養成事業

日本赤十字広島看護大学は、赤十字の中国・四国ブロックにおける拠点校として、国内外の保健・医療・福祉の分野をはじめ、災害救護や国際救援、教育・研究現場等様々な場において活躍できる看護師等の養成を行っています。



日本赤十字広島看護大学

(1) 在籍状況

赤十字の人道の理念を基調とした教育と人々の命と権利を尊重することを基本とした「ヒューマンケアリング」の精神のもとに、豊かな人間性と幅広い教養を身につけた人材育成に努めています。

■学年別在籍状況

1学年(人)	2学年(人)	3学年(人)	4学年(人)	大学院(人)	合計(人)
138	130	167	141	31	607

(2) 進路状況

卒業生の多くが、赤十字の医療施設をはじめ、国公立系の医療施設等様々な場所で活躍しています。

■学部卒業生進路状況

卒業生(人)	就職(人)				進学(人)	その他(人)
	赤十字の医療施設	国公立系の医療施設	公的医療施設	その他の病院等		
138	61	19	44	11	0	3



成人看護学演習



災害看護学演習

9 血液事業

新型コロナウイルスの感染拡大を踏まえ、血液センターでは十分な感染予防対策や献血会場の安全性の確保対策を講じたうえで、献血協力団体等の皆さんに、献血実施の安全性及び国民の生命を支える献血の必要性についてご理解をいただきました。

また「新しい生活様式」を踏まえ、医療需要に応じた安全かつ安定的な献血血液の確保に加えて新型コロナウイルス感染防止の観点から、SNSを活用したタイムリーな広報の強化や献血WEB会員の増強を行うことで献血会場における献血者の密集や密接を回避するための献血予約の推進強化を行っています。

(1) 献血実績

200mL 献血 (人)	400mL 献血 (人)	成分献血 (人)	合計 (人)
1,489	75,337	46,496	123,322

(2) 供給実績

200mL 由来 (本)		400mL 由来 (本)		成分由来 (本)		合計 (本)
赤血球製剤	血漿製剤	赤血球製剤	血漿製剤	血小板製剤	血漿製剤	
1,180	241	69,961	7,801	29,042	4,891	113,116

(3) 献血思想の普及

ア 「愛の血液助け合い運動」

毎年7月の1ヶ月間、厚生労働省・各都道府県及び日本赤十字社が主催して全国一斉に「愛の血液助け合い運動」を実施しています。

この運動の一環として、献血運動の推進に関し積極的に協力し、他の模範となる実績を示した39団体と21名の個人に対し献血功労者表彰・感謝状を贈呈しました。

また、県内の中学生・高校生を対象に献血について関心を深めてもらうことを目的に献血推進ポスターを募集し、応募のあった献血推進ポスター127点の中から入選作品16点を表彰しました。

なお、「令和2年度広島県献血推進功労者等表彰伝達式—献血感謝のつどい—」は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を考慮し中止となりました。

イ 「はたちの献血」キャンペーン

1月1日から2月末日までの2ヶ月間、新たに成人を迎える「はたち」の若者を中心に、広く国民に献血への理解と協力を求める目的で「はたちの献血」キャンペーンを実施しました。



第21回広島県献血推進ポスター最優秀賞
広島市立仁保中学校 山本 愛 さんの作品

(4) 福山出張所の移転統合（採血部門及び供給部門）

令和3年3月16日、かねてより準備を進めておりました福山出張所と福山供給出張所が移転統合し、「採血部門」と「供給部門」の機能を併せ持った「福山出張所」として福山市引野町にグランドオープンしました。

新たな福山出張所には、地域の皆さんに献血セミナーや研修等でご利用いただける多目的室も整備し、地域に開かれた施設となっています。



広島県赤十字血液センター 福山出張所

10 医療事業

県内には広島赤十字・原爆病院、庄原赤十字病院、三原赤十字病院の3つの赤十字病院があり、いずれも地域の中核病院としての役割を果たしています。

近年、医療事業においては医療費削減や医師不足等、取り巻く環境は非常に厳しい状況となっていますが、各病院は地域の特性に応じたサービスの提供と良質な医療の提供に重点をおいた事業を展開しています。

(1) 広島赤十字・原爆病院

広島赤十字・原爆病院は、地域の中核病院として通常医療を継続しつつ、広島県や広島市などの要請に基づき、新型コロナウイルス感染症への様々な対応を行いました。



広島赤十字・原爆病院

診療科目 (31科)	内科、肝臓内科、腎臓内科、血液内科、内分泌・代謝内科、脳神経内科、循環器内科、呼吸器内科、消化器内科、精神科、外科、消化器外科、血管外科、乳腺外科、呼吸器外科、脳神経外科、整形外科、リハビリテーション科、リウマチ科、産婦人科、小児科、耳鼻咽喉科、眼科、皮膚科、泌尿器科、放射線診断科、放射線治療科、麻酔科、緩和ケア内科、歯科口腔外科、病理診断科
---------------	--

病床数（床）		職員（人）				入院患者（人）		外来患者（人）	
許可	実働	医師	看護要員	その他	計	延数	一日平均	延数	一日平均
565	557	162	659	404	1,225	184,768	506.2	321,490	1,328.5

(2) 庄原赤十字病院

庄原赤十字病院は、引き続き産婦人科の常勤医師を確保するとともに、呼吸器内科を標榜し、備北圏域の地域医療を支える診療体制を拡充しました。



庄原赤十字病院

診療科目 (21科)	内科、消化器内科、循環器内科、糖尿病内科、腎臓内科、脳神経外科、小児科、外科、透析外科、整形外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、麻酔科、放射線科、リハビリテーション科、神経内科、漢方・疼痛緩和科、呼吸器内科							
---------------	---	--	--	--	--	--	--	--

病床数（床）		職員（人）				入院患者（人）		外来患者（人）	
許可	実働	医師	看護要員	その他	計	延数	一日平均	延数	一日平均
300	298	38	251	122	411	87,419	239.5	113,363	468.4

(3) 三原赤十字病院

三原赤十字病院は、近年増加傾向にある生活習慣病に対応すべく、糖尿病などの教育的入院の実践、医師をはじめ薬剤師・栄養士による各種指導、生活習慣病予防講座の開催など、病気の治療だけでなく、予防医療にも積極的に取り組むとともに、訪問診療・訪問看護等の在宅医療を推進することにより、地域に密着した医療の提供を行いました。



三原赤十字病院

診療科目 (20科)	内科、呼吸器内科、肝臓内科、循環器内科、消化器内科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、小児外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、リウマチ科、リハビリテーション科、緩和ケア外科							
---------------	--	--	--	--	--	--	--	--

病床数（床）		職員（人）				入院患者（人）		外来患者（人）	
許可	実働	医師	看護要員	その他	計	延数	一日平均	延数	一日平均
197	197	27	169	85	281	51,917	142.2	75,381	285.5

III 決算状況

1 一般会計

(1) 日本赤十字社広島県支部

■歳入

支部収入	予算額（円）	決算額（円）
社資収入	396, 200, 000	349, 714, 327
委託金等収入	0	0
補助金及び交付金収入	1, 536, 000	1, 420, 000
災害等義援金預り金収入	40, 094, 000	40, 093, 710
繰入金収入	46, 258, 000	46, 222, 237
資産収入	26, 657, 000	25, 432, 287
雑収入	14, 565, 000	2, 976, 055
前年度繰入金	65, 875, 000	104, 871, 184
合計	591, 185, 000	570, 729, 800

■歳出

支部費	予算額（円）	決算額（円）
災害救護事業費	109, 538, 000	92, 511, 915
社会活動費	90, 106, 000	54, 676, 226
国際活動費	2, 753, 000	1, 818, 282
指定事業地方振興費	3, 000, 000	3, 000, 000
地区分区交付金支出	54, 471, 000	37, 129, 384
社業振興費	67, 235, 000	52, 365, 275
基盤整備交付金補助金支出	17, 200, 000	17, 200, 000
積立金支出	65, 779, 000	36, 382, 910
総務管理費	83, 885, 000	69, 530, 893
資産取得及び資産管理費	40, 218, 000	31, 407, 691
本社送納金支出	54, 000, 000	49, 457, 149
予備費	3, 000, 000	—
合計	591, 185, 000	445, 479, 725

2 医療施設特別会計

(1) 広島赤十字・原爆病院

■収益的収入

病院収益	予算額（円）	決算額（円）
医業収益	21,799,238,000	21,762,059,928
医業外収益	795,074,000	754,308,215
医療社会事業収益	0	10,000
付帯事業収益	86,983,000	85,782,363
特別利益	6,500,000	6,457,482
合計	22,687,795,000	22,608,617,988

■収益的支出

病院費用	予算額（円）	決算額（円）
医業費用	22,683,417,000	21,846,309,782
医業外費用	160,716,000	138,934,648
医療奉仕費用	126,378,000	107,050,608
付帯事業費用	151,082,000	143,059,725
特別損失	60,000,000	19,753,094
法人税等	6,433,000	0
予備費	—	—
合計	23,188,026,000	22,255,107,857

■資本的収入

病院収入	予算額（円）	決算額（円）
固定負債	97,518,000	96,724,480
資産売却収入	—	—
その他資本収入	1,335,272,000	1,204,125,136
合計	1,432,790,000	1,300,849,616

■資本的支出

病院費	予算額（円）	決算額（円）
固定資産	513,131,000	393,250,824
借入金等償還	919,659,000	907,598,792
合計	1,432,790,000	1,300,849,616

(2) 庄原赤十字病院

■収益の収入

病院収益	予算額(円)	決算額(円)
医業収益	5,911,903,000	5,659,374,476
医業外収益	351,405,000	1,624,910,673
医療社会事業収益	—	—
付帯事業収益	23,983,000	26,169,407
特別利益	70,000	3,734,941
合計	6,287,361,000	7,314,189,497

■収益の支出

病院費用	予算額(円)	決算額(円)
医業費用	6,197,647,000	6,059,073,256
医業外費用	13,798,000	12,197,055
医療奉仕費用	124,373,000	108,454,475
付帯事業費用	32,557,000	27,750,985
特別損失	12,000,000	5,176,812
法人税等	2,418,000	29,157
予備費	—	—
合計	6,382,793,000	6,212,681,740

■資本の収入

病院収入	予算額(円)	決算額(円)
固定負債	245,990,000	245,989,148
資産売却収入	—	—
その他資本収入	321,517,000	320,502,700
合計	567,507,000	566,491,848

■資本の支出

病院費	予算額(円)	決算額(円)
固定資産	286,466,000	285,451,750
借入金等償還	281,041,000	281,040,098
合計	567,507,000	566,491,848

(3) 三原赤十字病院

■収益の収入

病院収益	予算額(円)	決算額(円)
医業収益	3,414,778,000	3,077,878,222
医業外収益	66,364,000	410,981,348
医療社会事業収益	1,674,000	1,747,900
付帯事業収益	41,449,000	48,870,053
特別利益	—	101,160
合計	3,524,265,000	3,539,578,683

■収益の支出

病院費用	予算額(円)	決算額(円)
医業費用	3,694,474,000	3,306,166,913
医業外費用	36,322,000	36,318,801
医療奉仕費用	68,575,000	68,574,811
付帯事業費用	47,598,000	47,597,192
特別損失	6,611,000	6,610,870
法人税等	—	—
予備費	—	—
合計	3,853,580,000	3,465,268,587

■資本的収入

病院収入	予算額(円)	決算額(円)
固定負債	42,733,000	42,532,590
資産売却収入	—	—
その他資本収入	296,101,000	296,100,647
合計	338,834,000	338,633,237

■資本的支出

病院費	予算額(円)	決算額(円)
固定資産	65,742,000	65,741,455
借入金等償還	273,092,000	272,891,782
合計	338,834,000	338,633,237

IV 参考資料

1 赤十字施設一覧

(令和3年4月1日現在)

施設名	郵便番号	住所
日本赤十字社広島県支部	730-0052	広島市中区千田町二丁目 5-64 082 (241) 8811
広島赤十字・原爆病院	730-8619	広島市中区千田町一丁目 9-6 082 (241) 3111
庄原赤十字病院	727-0013	庄原市西本町二丁目 7-10 0824 (72) 3111
三原赤十字病院	723-8512	三原市東町二丁目 7-1 0848 (64) 8111
広島県赤十字血液センター	730-0052	広島市中区千田町二丁目 5-5 082 (241) 1246
本通出張所 (献血ルーム「もみじ」)	730-0035	広島市中区本通 6-11 明治安田生命広島本通ビル 1・2F 082 (248) 6034
紙屋町出張所 (献血ルーム「ピース」)	730-0031	広島市中区紙屋町二丁目 3-20 ソシオスクエア紙屋町 4F 082 (248) 1230
福山出張所	721-0942	福山市引野町二丁目 23-26 084 (940) 5581
日本赤十字社中四国ブロック 血液センター	730-0052	広島市中区千田町二丁目 5-5 082 (241) 1311
日本赤十字広島看護大学	738-0052	廿日市市阿品台東 1-2 0829 (20) 2800

2 地区・分区一覧

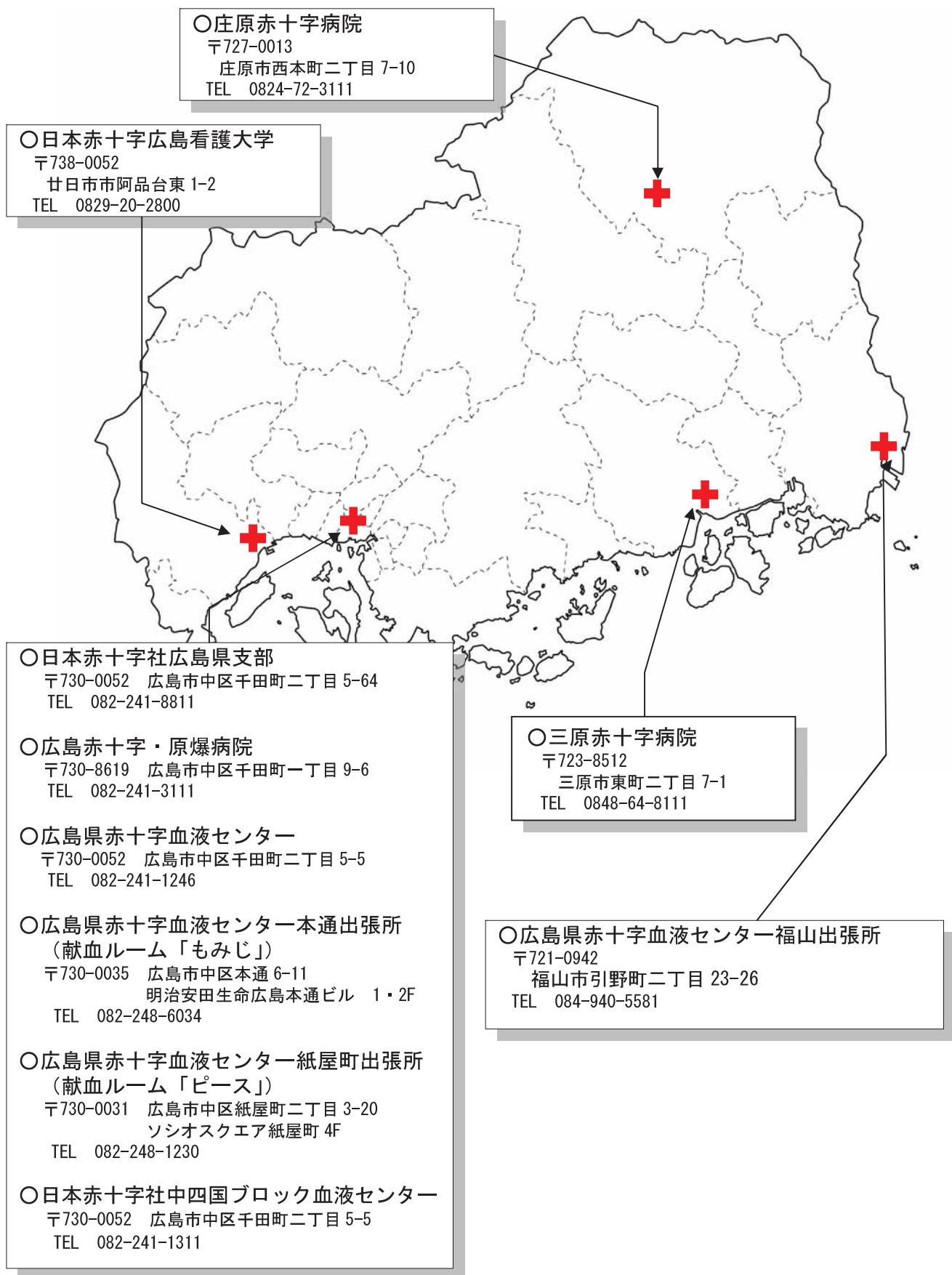
(令和3年4月1日現在)

地区・分区名	郵便番号	住所
広島市地区本部	730-8586	広島市中区国泰寺町一丁目 6-34 広島市健康福祉局地域共生社会推進課内
中区地区	730-8565	広島市中区大手町四丁目 1-1 中区役所生活課
東区地区	732-8510	広島市東区東蟹屋町 9-34 東区役所生活課
温品分区	732-0033	広島市東区温品五丁目 1-18 東区役所温品出張所
南区地区	734-8523	広島市南区皆実町一丁目 4-46 南区役所生活課
似島分区	734-0017	広島市南区似島町字家下 752-74 南区役所似島出張所
西区地区	733-8535	広島市西区福島町二丁目 24-1 西区役所生活課
安佐南区地区	731-0194	広島市安佐南区中須一丁目 38-13 安佐南区役所生活課
安古市分区	731-0194	広島市安佐南区中須一丁目 38-13 安佐南区役所生活課
佐東分区	731-0103	広島市安佐南区緑井六丁目 29-28 安佐南区役所佐東出張所
祇園分区	731-0138	広島市安佐南区祇園二丁目 48-7 安佐南区役所祇園出張所
沼田分区	731-3164	広島市安佐南区伴東七丁目 64-8 安佐南区役所沼田出張所
安佐北区地区	731-0221	広島市安佐北区可部三丁目 19-22 安佐北区役所生活課
可部分区	731-0221	広島市安佐北区可部三丁目 19-22 安佐北区役所生活課
高陽分区	739-1751	広島市安佐北区深川五丁目 13-7 安佐北区役所高陽出張所
白木分区	739-1414	広島市安佐北区白木町秋山 2391-4 安佐北区役所白木出張所
安佐分区	731-1142	広島市安佐北区安佐町大字飯室 3052-1 安佐北区役所安佐出張所

地区・分区名		郵便番号	住所
安芸区地区	船越分区	736-8555	広島市安芸区船越南三丁目 2-16 安芸区役所生活課
	中野分区	736-8555	広島市安芸区船越南三丁目 2-16 安芸区役所生活課
	矢野分区	739-0321	広島市安芸区中野三丁目 20-9 安芸区役所中野出張所
	阿戸分区	736-0083	広島市安芸区矢野東五丁目 7-18 安芸区役所矢野出張所
	佐伯区地区	731-4231	広島市安芸区阿戸町 6257-2 安芸区役所阿戸出張所
湯来分区		731-5195	広島市佐伯区海老園一丁目 4-5 佐伯区役所生活課
		738-0601	広島市佐伯区湯来町大字和田 166 佐伯区役所湯来出張所
呉市地区		737-8501	呉市中央四丁目 1-6 呉市役所 2 階 呉市市民部地域協働課
竹原市地区		725-8666	竹原市中央五丁目 1-35 竹原市市民福祉部社会福祉課
三原市地区		723-0014	三原市城町一丁目 2-1 サン・シープ・ラバ 4 階 三原市社会福祉協議会
尾道市地区		722-8501	尾道市久保一丁目 15-1 尾道市福祉保健部社会福祉課
福山市地区		720-8512	福山市三吉町南二丁目 11-22 福山市社会福祉協議会
府中市地区		726-0011	府中市広谷町 919-3 府中市社会福祉協議会
三次市地区		728-0013	三次市十日市東三丁目 14-1 三次市社会福祉協議会
庄原市地区		727-0013	庄原市西本町四丁目 5-26 庄原市社会福祉協議会
大竹市地区		739-0692	大竹市小方一丁目 11-1 大竹市健康福祉部地域介護課
東広島市地区		739-8601	東広島市西条栄町 8-29 東広島市健康福祉部社会福祉課
廿日市市地区		738-8512	廿日市市新宮一丁目 13-1 廿日市市社会福祉協議会

地区・分区名		郵便番号	住所
安芸高田市地区		731-0521	安芸高田市吉田町常友 1564-2 安芸高田市社会福祉協議会
江田島市地区		737-2302	江田島市能美町鹿川 2060 江田島市社会福祉協議会
安芸	府中町分区	735-0023	安芸郡府中町浜田本町 5-25 府中町社会福祉協議会
	海田町分区	736-0035	安芸郡海田町日の出町 2-35 海田町社会福祉協議会
	熊野町分区	731-4214	安芸郡熊野町中溝一丁目 11-1 熊野町社会福祉協議会
	坂町分区	731-4312	安芸郡坂町平成ヶ浜一丁目 3-19 坂町社会福祉協議会
山県	安芸太田町分区	731-3702	山県郡安芸太田町大字中筒賀 2802-5 安芸太田町社会福祉協議会
	北広島町分区	731-2104	山県郡北広島町大朝 2513-1 北広島町社会福祉協議会
豊田	大崎上島町分区	725-0401	豊田郡大崎上島町木江 5-9 大崎上島町社会福祉協議会
世羅	世羅町分区	722-1121	世羅郡世羅町大字西上原 426-3 世羅町社会福祉協議会
神石	神石高原町分区	720-1522	神石郡神石高原町小畠 1748 神石高原町社会福祉協議会

県内の赤十字施設





日本赤十字社 広島県支部
Japanese Red Cross Society

〒730-0052 広島市中区千田町二丁目 5-64

TEL 082-241-8811 FAX 082-240-2741

<https://www.jrc.or.jp/chapter/hiroshima/>